巻頭言

バリアフリー教育開発研究センター　星加 良司

東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センターでは、初等・中等・高等教育の現場や教育行政機関をはじめ社会の各領域で、バリアフリーやインクルーシブ社会の理念と思想について深い理解を持つ人材を育成するため、教育カリキュラムや教育実践、教育システム等に関わる研究と、それを社会に実装していくための活動を展開しています。現代社会において、異質な者との共生をめぐるコンフリクトを乗り越え、多様な人々の生が尊重されるインクルーシブな社会への転換を駆動するための知を生産し普及させていくことが、ますます重要になってきており、なかんずく教育学にはこの課題に挑戦する知と実践に寄与することが強く求められています。本センターは、この課題に応えるための研究教育拠点として、インクルーシブな社会形成に向けた新たな知の生産と発信を精力的に進めています。

こうした活動の一環として、本センターでは 2019 年度より「若手研究者育成プロジェクト」を開始し、研究科の大学院生を対象に、バリアフリーやインクルーシブ社会、ダイバーシティ等に関わる意欲的な研究プロジェクトを助成し、研究の支援を行っています。この刊行物は、その年間の成果を取りまとめたものです。

バリアフリーやインクルーシブ社会に関わるテーマは、多様な分野からのアプローチが可能であり、教育哲学、教育史、教育方法学、教育心理学、臨床心理学、教育社会学、比較教育学、教育行政学、身体教育学、社会教育学をはじめ教育学のあらゆる領域が潜在的な関連分野であるともいえます。こうした既存の専門分野の垣根を越え、学際的で多角的なアプローチがそれぞれの知見を相互参照しつつ発展していくことで、社会的な分断をもたらす言説に抗し、インクルーシブな社会の構築に資する知の基盤が形成されていくことを信じています。